

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月22日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社カインズ

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,214	7.2	56	5.3	55	6.1	30	—
23年3月期第1四半期	1,133	8.9	53	8.6	52	26.0	△6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.94	—
23年3月期第1四半期	△1.44	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,698	—	2,696	—	2,696	47.3
23年3月期	5,788	—	2,696	—	2,696	46.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,696百万円 23年3月期 2,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,273	3.0	68	△40.7	58	△46.8	28	6.8	6.40
通期	4,710	1.5	215	△4.4	196	△10.2	109	45.5	24.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	4,558,860 株	23年3月期	4,558,860 株
24年3月期1Q	106,338 株	23年3月期	105,753 株
24年3月期1Q	4,452,717 株	23年3月期1Q	4,453,278 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページをご参照ください。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	（1） 経営成績に関する定性的情報	1
	（2） 財政状態に関する定性的情報	1
	（3） 業績予想に関する定性的情報	2
2	サマリー情報（その他）に関する事項.....	2
	（1） 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	2
	（2） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
4	四半期財務諸表等	
	（1） 四半期貸借対照表	3
	（2） 四半期損益計算書	4
	（3） 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
	（4） 継続企業の前提に関する注記	6
	（5） セグメント情報	6
	（6） 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国経済は、3月に発生した東日本大震災とこの災害に伴う福島第一原発事故からの復興に向け、回復を目指し一歩を踏み出した状況にあります。

しかし、国内企業の業績や個人消費及び雇用情勢などは、依然、足踏みの状態が続いており、その先行きについては、不透明で予断を許さない状況にあります。為替相場におきましても、米国の雇用情勢の低迷や欧州の財政問題などから円高基調での推移が継続しており、今後における企業収益への影響が懸念される所であり、

このような状況の下、当第1四半期の売上高は、12億1千4百万円（前年同期比7.2%増）となりました。検査分野別で見ると、生化学分野においては、糖尿病検査薬等が前事業年度に引き続き好調な推移を示したことにより3億8千万円（前年同期比8.7%増）となりました。

免疫分野におきましても、アレルギー診断薬が引き続き好調な伸びを示したことにより7億8千7百万円（前年同期比3.6%増）という結果になりました。また、その他の分野におきましても、主に遺伝子関連試薬の伸びなどが貢献し4千6百万円（前年同期比101.0%増）となりました。

このような状況から、営業利益及び経常利益につきましては、それぞれ5千6百万円（前年同期比5.3%増）、5千5百万円（前年同期比6.1%増）となり、四半期純利益においては、3千万円（前年同期は6百万円の四半期純損失）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第1四半期累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年6月30日〕		当第1四半期累計期間 〔自平成23年4月1日 至平成23年6月30日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	330,583	29.2	357,848	29.5
	免疫血清学的検査用試薬	107,684	9.5	71,658	5.9
	そ の 他	13,378	1.2	40,469	3.3
	計	451,646	39.9	469,975	38.7
商 品	生化学的検査用試薬	19,699	1.7	22,854	1.9
	免疫血清学的検査用試薬	652,236	57.6	715,783	59.0
	そ の 他	9,507	0.8	5,544	0.5
	計	681,443	60.1	744,182	61.3
合 計	生化学的検査用試薬	350,282	30.9	380,702	31.4
	免疫血清学的検査用試薬	759,920	67.1	787,441	64.9
	そ の 他	22,886	2.0	46,013	3.8
	計	1,133,089	100.0	1,214,158	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は、56億9千8百万円となり、前事業年度末と比べ9千万円減少いたしました。流動資産は24億3千2百万円となり、前事業年度末と比べ7千7百万円減少いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の回収が進み9千1百万円減少したためです。固定資産は32億6千5百万円となり前事業年度末と比べ1千2百万円の減少となりました。有形固定資産は前事業年度末と比べ4百万円の減少となりました。その主な要因は、減価償却の進捗によるものです。無形固定資産は、前事業年度末と比べ9百万円の減少となりました。これは主に基幹業務に係わるソフトウェアの償却が進んだためです。投資その他の資産は、4億1千8百万円となり、前事業年度末と比べ1百万円程度微増となりました。これは主に投資有価証券の評価益によるものです。

当第1四半期会計期間末の負債の額は、30億1百万円となりました。流動負債は25億8百万円となり前事業年度末に比べ4千6百万円増加いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が1千5百万円、未払法人税等、賞与引当金及びその他が1億9百万円減少した一方で、短期借入金が1億7千2百万円（長期借入金からの振替8千2百万円含む）増加したことによるものです。

当第1四半期会計期間末の純資産の額は、26億9千6百万円となりました。これは主に配当金3千3百万円の支払いを行った一方で、四半期純利益3千万円を計上したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 1 四半期会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) の残高は 7 億 9 千 7 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 千 8 百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、3 千 6 百万円 (前年同期は 5 千 6 百万円の増加) となりました。その主な要因は、たな卸資産の増加 1 千 2 百万円、仕入債務の減少 2 千 8 百万円、法人税等の支払い 3 千 9 百万円、未払金など 2 千 8 百万円及び賞与引当金が 4 千 3 百万円減少する一方で、税引前四半期純利益 5 千 5 百万円、減価償却費 3 千 4 百万円及び売上債権が 9 千 1 百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は 3 百万円 (前年同期は 2 千 6 百万円の支出) となりました。その主な支出は、販促機器などの取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は 4 百万円 (前年同期は 1 億 3 千 8 百万円の増加) となりました。その主な要因は、短期借入金による調達 9 千万円により増加したものの、その一方で、配当金 3 千 3 百万円及び長期借入金の返済 5 千 6 百万円の支払いによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、原発事故による国内多業種への影響及び欧米諸国の財政問題と雇用環境低迷を背景とした株式市場と為替相場への影響懸念から、企業収益の回復と雇用環境の改善については、依然、不透明な状況で推移するものと思われます。臨床検査業界におきましても、医療費政策や企業間競争の影響により経営環境は、ますます厳しさをましていくものと思われます。

第 2 四半期以降の業績につきましては、POC T 関連試薬等が不透明な状況にあることから、平成 23 年 5 月 10 日付「平成 23 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせした第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,008,515	1,037,435
受取手形及び売掛金	1,129,684	1,038,471
商品及び製品	122,481	159,402
仕掛品	54,142	44,000
原材料及び貯蔵品	117,798	103,049
その他	80,462	53,061
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,510,185	2,432,522
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	781,865	769,733
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	148,893	156,383
有形固定資産合計	2,782,211	2,777,569
無形固定資産	78,441	69,398
投資その他の資産	417,831	418,783
固定資産合計	3,278,484	3,265,752
資産合計	5,788,669	5,698,274
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	903,886	888,329
短期借入金	1,141,030	1,313,360
未払法人税等	46,000	6,443
賞与引当金	94,668	50,768
その他	276,494	250,031
流動負債合計	2,462,079	2,508,932
固定負債		
長期借入金	507,630	369,150
その他	122,276	123,584
固定負債合計	629,906	492,734
負債合計	3,091,985	3,001,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,021,339	1,018,843
自己株式	△89,910	△90,056
株主資本合計	2,691,575	2,688,934
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,108	7,673
評価・換算差額等合計	5,108	7,673
純資産合計	2,696,684	2,696,607
負債純資産合計	5,788,669	5,698,274

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,133,089	1,214,158
売上原価	759,927	822,610
売上総利益	373,161	391,547
販売費及び一般管理費	319,988	335,530
営業利益	53,172	56,017
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,996	3,751
為替差益	1,347	466
受取賃貸料	2,488	2,375
その他	1,480	1,551
営業外収益合計	9,312	8,144
営業外費用		
支払利息	7,095	6,124
手形売却損	113	183
賃貸費用	1,695	961
その他	932	1,034
営業外費用合計	9,837	8,303
経常利益	52,647	55,857
特別損失		
固定資産売却損	—	54
投資有価証券評価損	51,565	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,600	—
特別損失合計	55,165	54
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△2,517	55,803
法人税、住民税及び事業税	3,210	3,000
法人税等調整額	700	21,900
法人税等合計	3,910	24,900
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,427	30,903

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△2,517	55,803
減価償却費	34,600	34,499
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,600	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△608	91,212
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,751	△12,030
仕入債務の増減額 (△は減少)	42,015	△28,891
投資有価証券評価損益 (△は益)	51,565	—
その他	△28,644	△63,078
小計	95,259	77,514
利息の支払額	△6,624	△4,333
法人税等の支払額	△36,210	△39,947
その他の収入	4,050	3,733
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,474	36,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,581	△5,149
有形固定資産の売却による収入	—	274
投資有価証券の売却による収入	—	500
その他	31	405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,550	△3,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	140,000	90,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△65,400	△56,150
配当金の支払額	△33,446	△33,398
その他	△3,048	△4,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,104	△4,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	168,023	28,919
現金及び現金同等物の期首残高	663,745	768,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	831,769	797,435

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。